



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1
www.aioinissaydowa.co.jp**【業界初】単身高齢者世帯への見守りセンサー導入で保険料を割引
～ヤモリと単身高齢者世帯の安定的な住宅確保に向けた協業を開始～**

2023年4月5日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、不動産賃貸管理会社向けのクラウドサービスを開発・運営する株式会社ヤモリ（代表取締役：藤澤 正太郎、以下「ヤモリ」と、孤独死の減少および単身高齢者世帯の安定的な住宅確保に向け、業界で初めて、孤独死の予兆等を検知するセンサーを設置することで保険料を割り引く保険商品を開発し、2023年上期中に提供を開始します。

1. 背景

近年、単身高齢者世帯は増加傾向にあり、2015年時点では592万人だった単身高齢者世帯数が、2040年には896万人に上ると推計^{※1}されています。また、単身高齢者世帯の増加に伴い、高齢者の孤独死も増加しており、2003年時点では1,441人だった65歳以上の高齢者による孤独死数が、2018年には3,867人となり、15年間で約2.6倍増加しています^{※2}。

孤独死の増加は単身高齢者世帯の住宅確保にも影響を及ぼしており、孤独死が発生した賃貸住宅では、特殊清掃やリフォーム、賃料の下落といった多くのリスクを賃貸人（以下「大家」）が負担する必要があるため、大家が単身高齢者世帯に賃貸することを敬遠し、単身高齢者が賃貸住宅を借りにくくなっているという社会課題があります。

このような背景から、当社は大家向け保険商品である「家主費用・利益保険」を通じて原状回復費・家賃損失等を補償し、単身高齢者の住宅確保を後押ししてきました^{※3}。

この度、今後も増加が見込まれる単身高齢者世帯に対する安定的な住宅確保に向けて、ヤモリのモーションセンサー（以下「見守りヤモリ」）^{※4}を活用した新たな保険商品・サービスの開発に向け、ヤモリとの協業を開始しました。

※1 内閣府「平成30年版高齢社会白書」 ※2 国土交通省「死因別統計データ」

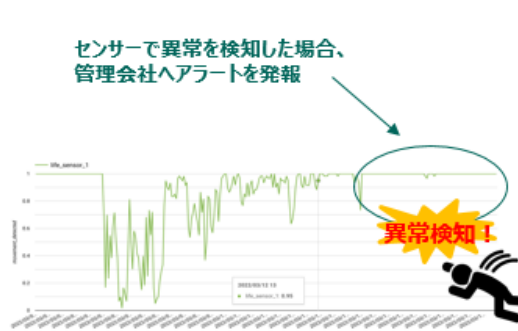
※3 （ご参考）【国内初】孤独死等に係る家主費用負担を軽減する自治体向け保険の提供開始

https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2022/news_2022112801083.pdf

※4 孤独死の予兆等、特定の挙動を検知した際に不動産賃貸管理会社に向けてアラートを発報するIoT機器

2. 本商品の概要**(1) 特長**

見守りヤモリを設置することで入居者の孤独死自体を減少させるとともに、万が一孤独死が発生した場合には早期に発見することができ、原状回復費等の軽減にもつながります。

① 見守りヤモリを設置**② センサーで異常を検知****③ 管理会社が駆けつけ（安否確認）**

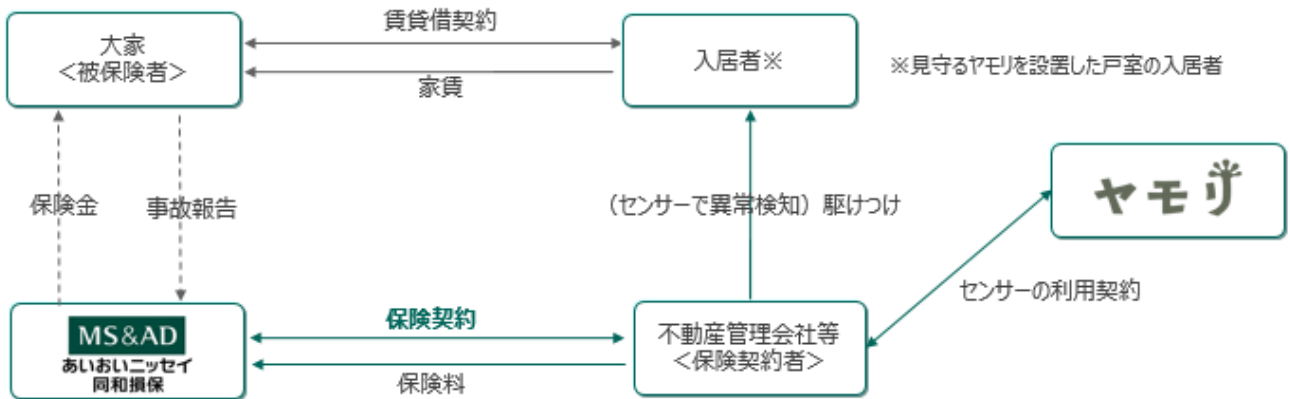
- ✓ 孤独死自体の減少（事故の未然防止）
- ✓ 孤独死の早期発見（迅速な回復）
- ✓ 原状回復費等の軽減（損害の極小化）

(2) 保険の概要

商品名	見守る家主・費用利益保険（仮称）
契約者	不動産賃貸管理会社、地方自治体
募集開始日	2023 年上期を予定
補償内容	賃貸住宅内で孤独死等が発生した場合に、家主（被保険者）が被る次の損害を補償します。 ・空室期間に対する家賃補償、値引期間に対する家賃補償 ・原状回復費用、事故対応費用、事故再発防止費用
保険料割引率	10%程度を想定（実証実験の結果を踏まえて決定）
保険料イメージ	1戸室・1か月あたり 200 円※5

※5 家賃補償に対する縮小支払割合 90%、原状回復費用の支払限度額 30 万円。なお、実際の保険料は支払限度額、支払限度期間や縮小支払割合等により異なります。

(3) スキームイメージ（契約者：不動産賃貸管理会社の場合）



(4) 本商品による主なメリット

不動産賃貸管理会社	<ul style="list-style-type: none"> ・孤独死対応業務の削減（業務効率化） ・孤独死の減少に伴う管理物件の空室率の改善 ・同業他社に対する差別化 ・保険料割引によるコストメリットを享受
大家	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーによる孤独死自体の発生リスクが減少 ・保険による孤独死等のリスクヘッジが可能 ・単身高齢者等の入居応募枠拡大に伴う空室率の改善
単身高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・入居可能な住宅の確保・拡大 ・万が一の際に管理会社が駆けつけてくれるという安心・安全の提供

3. 今後の展開

ヤモリとの協業を通じて得たノウハウを基に、社会・地域課題解決に資する新しい保険商品・サービスの提供を検討しており、今後も、社会課題の解決に資する付加価値を高めた商品・サービスを提供することによって、「レジリエントでサステナブルな社会」の実現に向けて取り組んでいきます。

以上

(ご参考) 見守りヤモリについて

見守りヤモリはモーションセンサーを搭載した IoT 機器であり、単身高齢者の住宅に設置することで、室内での移動の有無といった生活挙動の変化から孤独死等の異常を検知します。検知したデータは、ヤモリが提供する賃貸管理クラウド「管理会社のヤモリ」で 24 時間可視化し、異常が発生した場合は SMS 等を通じて不動産賃貸・管理会社に通知が届き素早く安否確認を行います。



当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組みます。

